



番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定
1	①配置先 ②雇用形態 ③配置人数 ④人数の考え方 ⑤実施体制	①こうち出会いサポートセンター ②正規職員(①の職員として) ③1名配置 ④市町村及び企業への訪問、イベント実施の調整ができる人員体制を構築する。 ⑤こうち出会いサポートセンターのセンター長でもあるため、市町村等に聞きとりにおいては、県の出会い・結婚支援事業や県内外の好事例の紹介も行うことができる。また、出会いイベント等においては、県の取組を活用した実施が可能である。		
2	【活動内容(1)】 市町村、企業、地域団体等への訪問および現状把握	全市町村に訪問し、結婚支援の取組状況や、市町村同士、県と市町村が有機的に連携し少子化対策に取り組めるよう市町村の意向等の聞き取りを行う。また、各市町村の取組状況や意向に沿った内容で連携できる既存の県事業を紹介する。 企業、地域団体等に対して個別訪問によるヒアリング、結婚支援の取組状況等に関するアンケートなどによる現状把握を行う。		○
3	【活動内容(2)】 市町村等が実施するイベント、セミナー、広報への助言・立会等による協力	・市町村等が実施するイベント、セミナー、広報に係る企画立案等について助言・立会等を行う。 ・市町村等の担当職員を対象としてイベント、セミナー、広報に係る企画立案等のノウハウに係る研修会等を行う。		
4	【活動内容(3)】 結婚支援業務未実施市町村への働きかけ	未実施の市町村に対して、他の市町村の結婚支援に関する取組や実施状況を情報共有などを行い、結婚支援業務に取り組んでもらえるよう働きかける。		
5	【活動内容(4)】 関係先(市町村、こうち出会いサポートセンター、企業等との情報共有	市町村勉強会において、結婚支援の取組状況等に関する情報の提供及び共有を行う。		
6	【活動内容(5)】 その他、各市区町村の結婚支援を技術面・情報面から支援するために必要と認められる業務	・市町村勉強会の実施 ・市町村等が参加するイベント、セミナーへの助言・立会等による協力等 ・他の都道府県と連携したイベント、セミナーへの助言・立会等による協力等 ・こども家庭庁が実施する結婚支援コンシェルジュ会議への参加、情報提供等の協力		
【次年度以降に向けた事業の方向性】				
訪問や、イベントの協働により携わった市町村への満足度アンケートを基に、次年度の活動内容や、収集した優良事例の横展開の方策を検討する。				
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】				

個別事業の内容  
※(注)3

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	合計特殊出生率(R6)			1.7	1.36 (R4)
	安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できる社会になっていると考える人の割合		%	50	22.9 (R5)
	理想的な子どもの数、現実的に持たたい子どもの数(R6)			理想と現実の数を上昇 理想と現実数の差を縮小	理想の数2.15人 (R5) 現実の数1.77人 (R5)
	平均初婚年齢(夫・妻)(R6)			年齢低下	夫：31.0歳 (R4) 妻：29.9歳 (R4)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.36 (R4)	
	婚姻件数		件	2,189 (R4)	
	婚姻率			3.3 (R4)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	対面・オンラインによる個別訪問市町村数	市町村	34	
	2	対面・オンラインによる企業・団体への個別訪問数	団体	100	
	3				
	(アウトカム)				
	1	市町村職員のコンシェルジュ事業に対する満足度	%	90	
	2	コンシェルジュの働きかけにより取組を始めた市町村の数	市町村	5	
3					
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<市町村の役割> コンシェルジュとの課題や、市町村の取組方針およびイベントやセミナーの開催情報の共有				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	イベントやセミナーについて企業・団体内集客等に向けた広報周知を行う。				